

目 標 達 成 計 画

事業所名： グループホームほほえみの郷

作成日： 平成22年 6月 3日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|---|---|------------|
| 1 | 49 | 一人ひとりのその日の希望に沿った外出支援は入居者の重度化・立地条件等で困難である | 一日の内に、短時間の外出、又は外気に触れることが出来るようにする | 外出支援表を作成し、外出頻度を把握し、その上で、外出を好まない入居者に対して、どのような支援が出来るか検討していく | 6ヶ月 |
| 2 | 39 | 起床したままの格好で一日を過ごす事があり、身だしなみやおしゃれに対し出来ていないことが時々ある | 髪の毛などの乱れに気を配り、その人らしいおしゃれが出来るようにする | 特に行事や外出の前など、身だしなみに気を配り、利用者が化粧する機会を作り、本人とともに考え実施していく | 6ヶ月 |
| 3 | 48 | 入居者個々の出来る事、出来ない事が職員全員で共有できていない | 入居者個々の残存能力が最大限発揮出来ることを再度、確認し職員全員で共有できるようにする | 入居者個々の残存能力が最大限発揮出来るよう、その掌握に職員全員で努め共有していく | 3ヶ月 |
| 4 | 40 | 職員の休憩時間と、入居者の食事時間が重なり、一緒に食事を摂ることが出来ていない | 週1回でも、一緒に食事が取れるようにする | 共同生活の場所であることを再度認識し、今後は職員間で話し合いの場を設け、入居者と共に食事が出来るよう努めていく | 2ヶ月 |
| 5 | 33 | 看取りの指針、対応方法が全職員に共有されておらず、不安を持つ職員が多い | 看取り指針を全職員が共有すると共に、対応についてより細やかな研修を行う | グループホームとして再度、指針内容を確認検討を行い、改めて全職員に指針及び対応について説明、及び、看取りに関する研修を行い、職員の不安解消に努める | 1年 |

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|-------------------------------------|---------------------|--|------------|
| 6 | 10 | 家族様が職員に話しかけにくいのではないかと？ | 話しかけやすい雰囲気を作る | 接遇研修を図り、話しやすい雰囲気作りに努める。また、職員からも家族様へ積極的に話しかけ、家族様との日常さり気ない話しを交わしながら、情報の交換等に努めていく | 1年 |
| 7 | 13 | 職員を育てる取組があまり出来ていない | 取り組んでいくようにする | 様々な研修受講が出来るよう努めると共に、職員交互に受講者による伝達研修を推進していく | 1年 |
| 8 | 40 | 配膳時や準備中に、入居者が触ったり、つまんだりするので準備ができにくい | スムーズに準備が出来るよう環境を整える | 棚の作成や環境の整備を行い、スムーズに準備が出来るよう努める、 | 2ヶ月 |
| 9 | 2 | 地域行事や年間行事に家族様の参加が少ない | 家族様にも参加していただく | 今まで以上に、施設における行事、日程等の情報を伝え、参加を促し、家族様と入居者と共に事業を遂行する | 1年 |
| 10 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。